

# 都市ビジョンと財政状況



令和元年10月  
静岡市

# 目次

## 第1部 静岡市の都市ビジョン

### プロフィール

|                           |   |
|---------------------------|---|
| アクセス、温暖な気候(交通、気候)         | 1 |
| 広域な市域、人口(面積、人口)           | 2 |
| 広域な都市圏の中心(静岡大都市圏及び商圏人口)   | 3 |
| バランスのとれた産業の集積(産業構造、商業の集積) | 4 |
| 地域に根づく企業(市内に立地する主な企業)     | 5 |

### 第3次静岡市総合計画

### 静岡市のSDGs推進に向けた取組

### 世界に存在感を示す3つの都心づくり～5大構想～

### 生活の質を高める2つの仕組みづくり～5大構想～

### 防災・減災の取組

### 人口活力の維持対策

### 産業振興の取組

### 行財政改革の推進

## 第2部 静岡市の財政状況

### 決算

|                  |    |
|------------------|----|
| 決算の概要(普通会計)      | 20 |
| 決算の推移(普通会計)      | 22 |
| 市税の状況            | 24 |
| 扶助費及び投資的経費の政令市比較 | 25 |
| 財政指標・健全化判断比率の推移  | 26 |
| 基金残高の状況          | 27 |

### 市債の状況

|                     |    |
|---------------------|----|
| 市債発行の推移(普通会計)       | 28 |
| 市債残高の推移(普通会計)       | 29 |
| プライマリーバランスの推移(普通会計) | 30 |

### 投資的経費の推移と今後の展望

### 財政の中期見通し

# 第1部 静岡市の都市ビジョン

# プロフィール ～アクセス、温暖な気候～

## 交通環境

### 優位なアクセス環境

### 供用開始

- 中部横断自動車道  
(新清水JCT-富沢IC間 平成31年3月10日開通)  
(静岡県、山梨県の所要時間が約30分短縮)
- 日本平久能山スマートインターチェンジ  
(静岡IC-清水IC間に令和元年9月14日供用開始)
- 東海道新幹線
- 清水港[国際拠点港湾]コンテナ取扱量8位(平成30年)
- 駿河湾フェリー「県道223(ふじさん)号」(清水港⇄土肥港)
- 東名高速道路、新東名高速道路(平成24年4月県内区間開通)
- 富士山静岡空港



静岡市

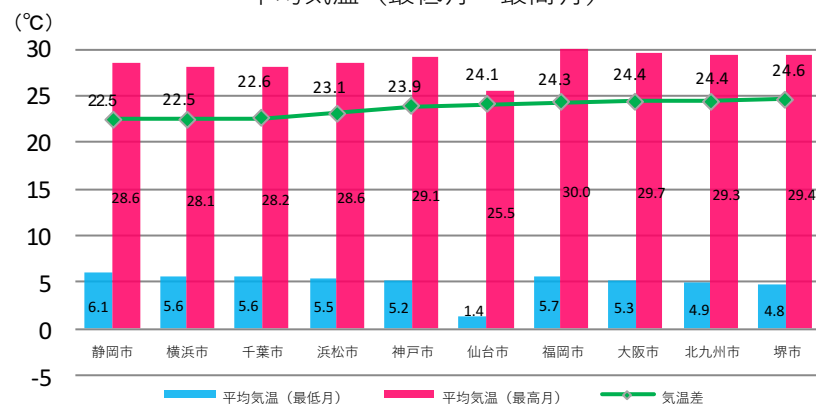
## 気候(平成30年度)

### 温暖な海洋性気候、豊富な日照量

- 年間平均気温 17.7℃
- 年間平均気温差 22.5℃  
…平均気温の最低月、最高月の気温差が政令市の中で1番小さい
- 年間日照時間 2,208.7時間…政令市中7番目に長い
- 年間雪日数 2日…政令市中最も少ない

出典: 気象庁「気象統計情報」(平成30年度)

平均気温(最低月・最高月)



# プロフィール ～広大な市域、人口～

## 面積

全国市区町村で6番目、  
政令指定都市では2番目の広さ

- 市域面積 約1,412km<sup>2</sup>
- 都市計画区域面積 約 235km<sup>2</sup>



## 人口

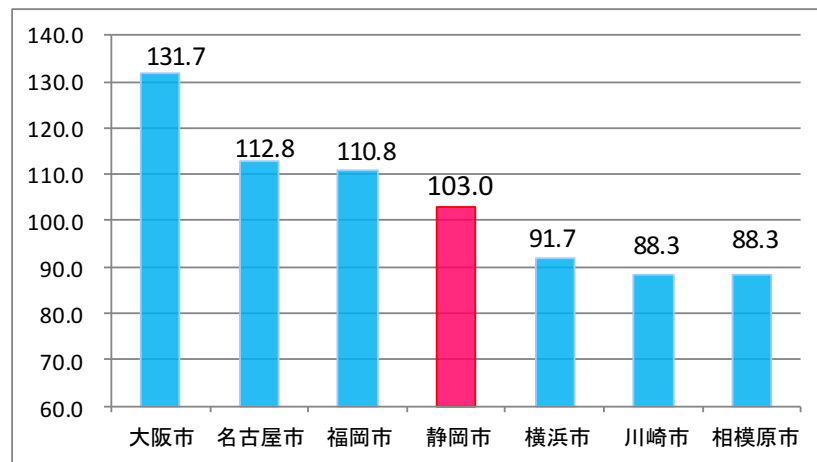
人口 699,663 人  
(住民基本台帳人口(日本人+外国人))

※令和元年8月末日現在

昼夜間人口比率 103.0  
(政令指定都市中第7位)

※総務省「国勢調査」(平成27年度)

％ 昼夜間人口比率の政令指定都市比較



静岡市



# プロフィール ～広域な都市圏の中心～

## 静岡大都市圏及び商圈人口

大都市圏人口 約138万人  
 商圈人口 約158万人

- ※大都市圏 中心市(静岡市)に加え、中心市への15歳以上の通勤・通学者が当該市町の常住人口の1.5%以上あり、かつ 中心市と接続している市町を加えたもの(大都市圏の範囲については、平成17年国勢調査における大都市圏に基づく)
- ※商圈 消費需要(購買力)の5%以上を吸引している地域
- ※連携中枢都市圏 静岡県中部5市2町(静岡市、島田市、藤枝市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町)
- ※都市雇用圏 通勤者のうち10%以上が静岡市に通っている市町

商圈の核となる駅周辺区域に  
 立地する主な大型商業施設

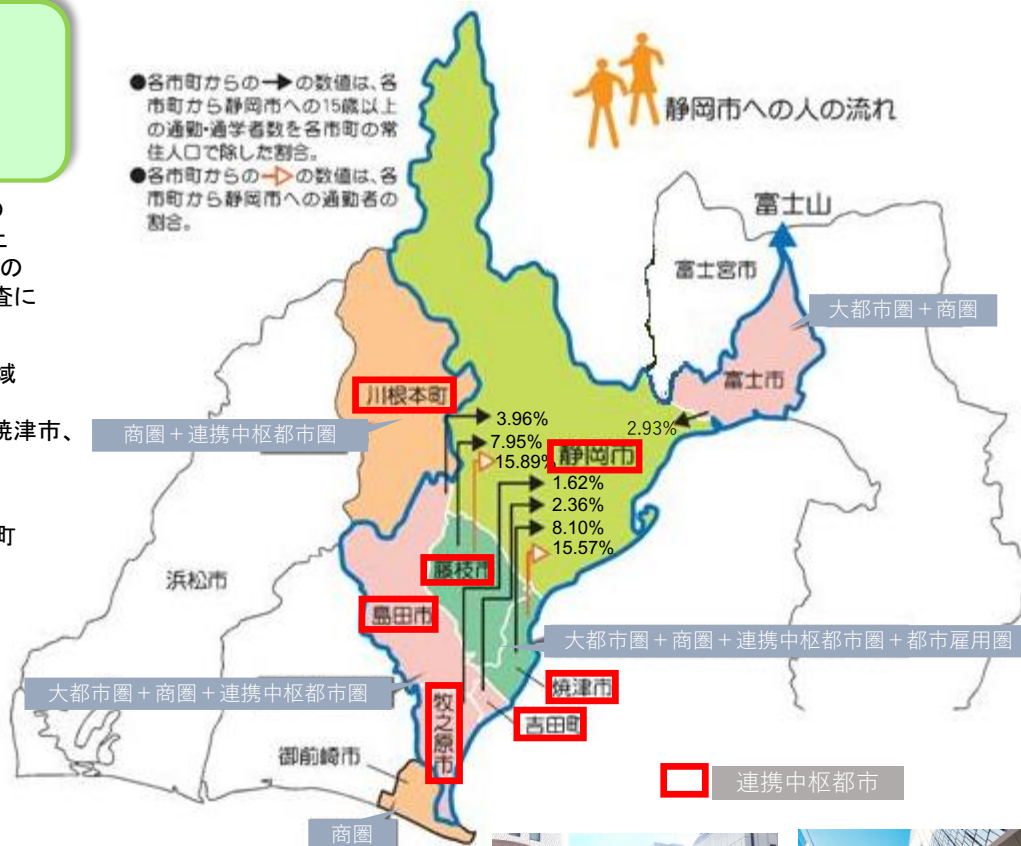
松坂屋 24,372㎡

静岡伊勢丹 21,525㎡

静岡パルコ 22,036㎡

丸井 13,456㎡

新静岡セノバ 27,265㎡



資料：○総務省「国勢調査」(平成27年度)  
 ○静岡県「静岡県の消費動向」(平成19年)  
 を基に算出



けやき通り、呉服町通り(葵区)

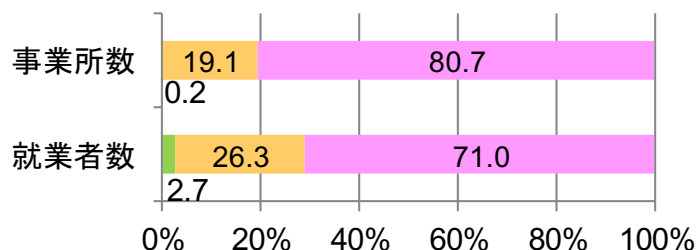


静岡市

### 産業構造

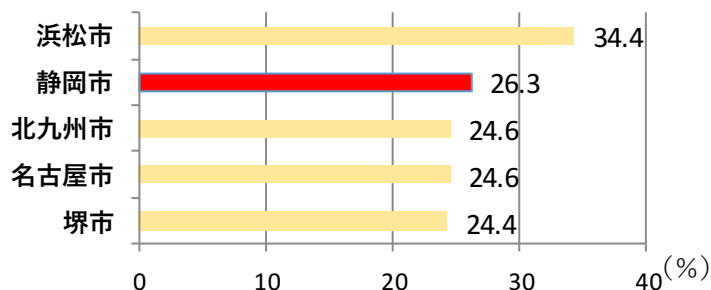
- 第3次産業の商業を中心とした都市
- 清水港周辺を中心とした製造業の立地が多く、第2次産業の割合も高い。
- 茶、みかんを中心とした第1次産業

#### 事業所数・就業者数



出典：総務省「平成28年経済センサス活動調査」  
「国勢調査」(平成27年)

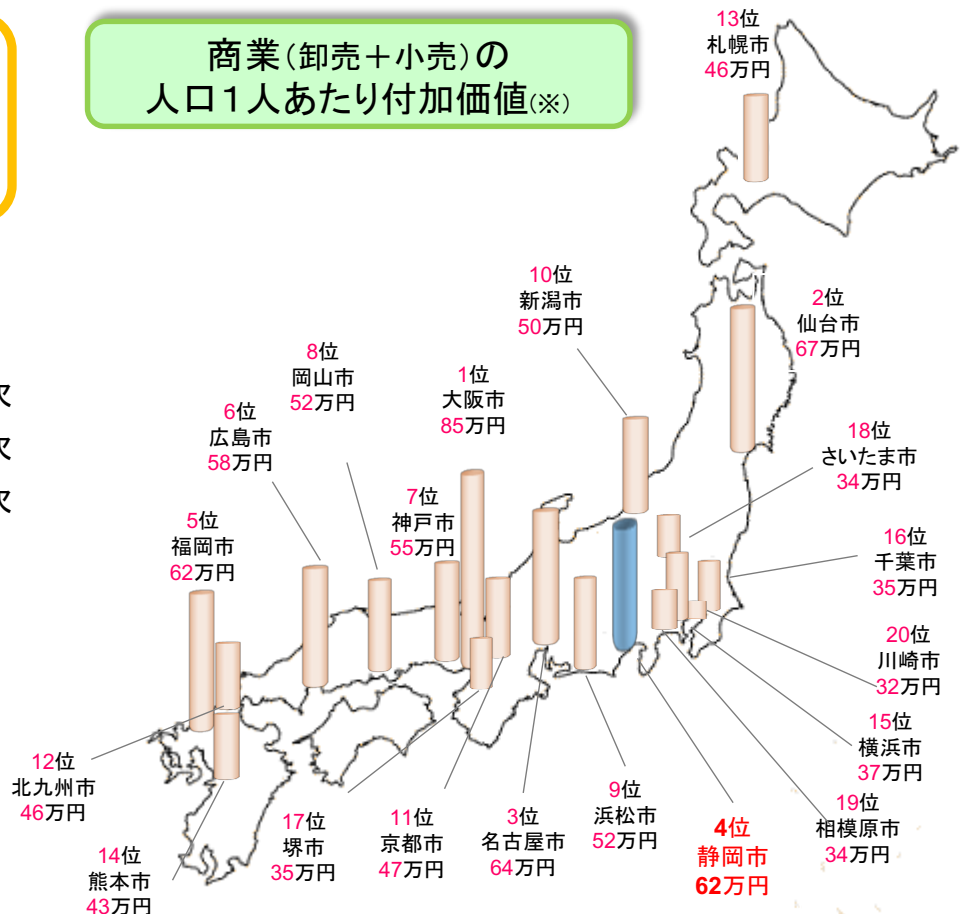
#### 第2次産業就業者数 構成比



出典：総務省「国勢調査」(平成27年)

### 商業の集積

商業(卸売+小売)の  
人口1人あたり付加価値(※)



※付加価値額：  
「売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課」で算出され、商業における営業利益と人件費などの合計。  
付加価値が大きいことは、顧客吸引力のある商業都市であることを表し、安定した雇用と税収が確保できる。

資料：総務省「平成28年経済センサス活動調査」、「国勢調査」(平成27年) より算出



静岡市

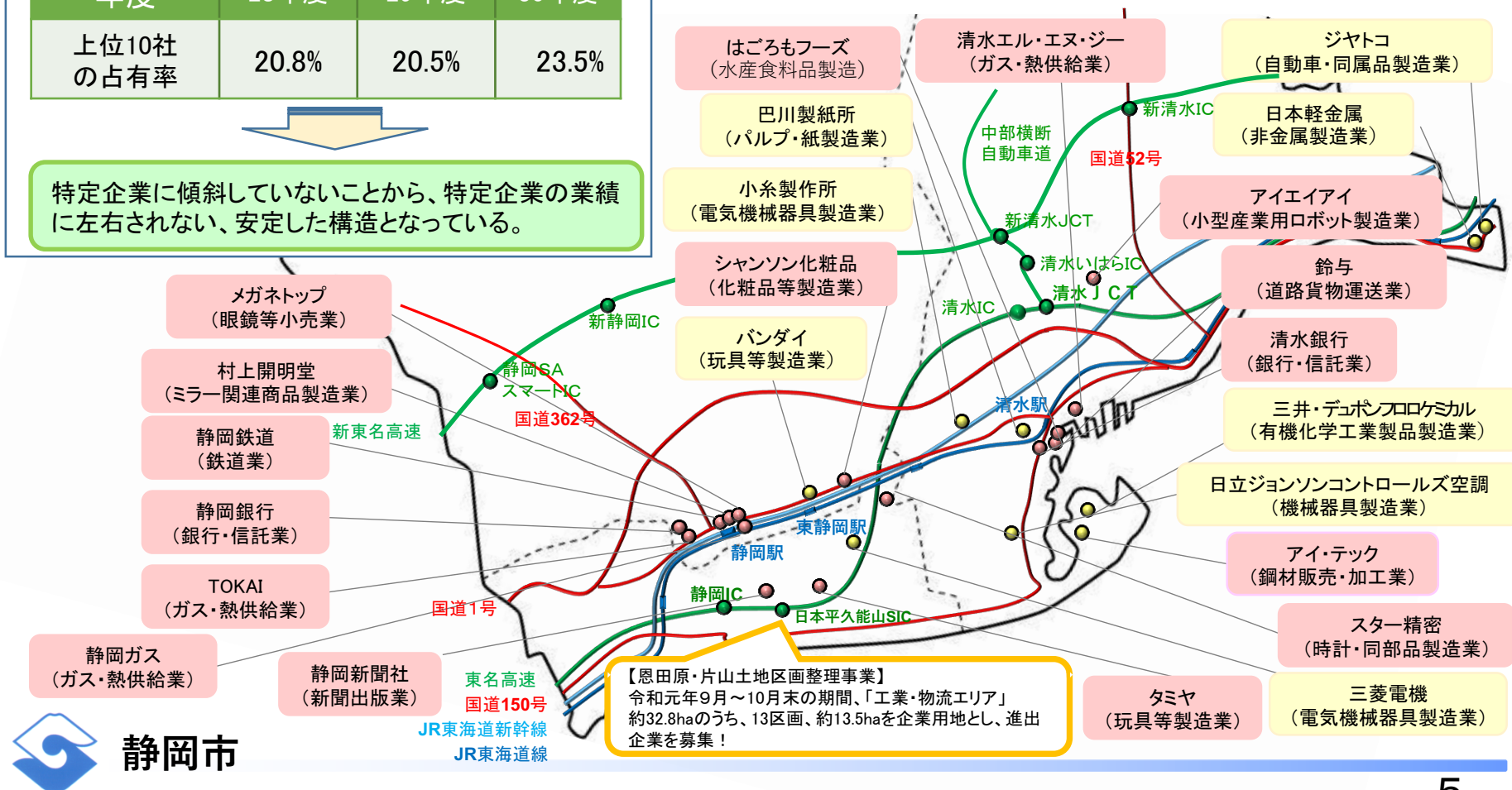
### 市内に立地する主な企業

法人市民税税収全体に占める  
上位10社の割合

| 年度        | 28年度  | 29年度  | 30年度  |
|-----------|-------|-------|-------|
| 上位10社の占有率 | 20.8% | 20.5% | 23.5% |

特定企業に傾斜していないことから、特定企業の業績に左右されない、安定した構造となっている。

- 本社を置く企業
- 製造拠点を置く企業





# 第3次静岡市総合計画（平成27年度～令和4年度）

3次総のまちづくりの目標 「世界に輝く静岡」の実現

## 平成27年度 重点プロジェクト（18政策）

「創造する力」による都市の発展（産業・経済の振興）

「つながる力」による暮らしの充実（安心・安全の確保）

### 歴史都市

- ① 400+プロジェクトの推進（駿府城公園エリアの整備等）
- ② 「東海道歴史街道」（二峠六宿）の推進
- ③ 三保松原の保全と活用

### 文化都市

- ① 東静岡・草薙地区の賑わい創出
- ② 清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進
- ③ 「まちが劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

### 中枢都市

- ① 首都圏等からの移住・定住の促進
- ② MICEの推進等による交流人口の拡大
- ③ 戦略産業への支援・育成

### 健康都市

- ① 健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築
- ② 静岡型子ども・子育て支援の推進
- ③ 健康都市の実現に向けた基盤整備

### 防災都市

- ① 災害対応力の強化と危機管理体制の確立
- ② 浸水・土砂災害の拡充
- ③ 再生可能エネルギーの導入・普及促進

### 共生都市

- ① 多様な人々による共生
- ② 南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生
- ③ まちづくりは人づくり・シチズンシップ

世界を意識した都市ビジョンをわかりやすく整理

18政策 → 5大構想へ

## 平成28年度 5大構想

### 世界水準の都市「静岡市」を目指して

その都市に暮らす人々が「安心感」をもって生活を営むことができ、その都市を訪れる人々が「満足感」をもってひとときを過ごすことができる都市。この「安心感」と「満足感」を兼ね備えた世界水準の静岡市づくりに取り組みます。その原動力とするために強く打ち出したのが＜5大構想＞です。

世界に存在感を示す3つの都心づくり

歴史文化の  
拠点づくり

海洋文化の  
拠点づくり

教育文化の  
拠点づくり

生活の質を高める2つの仕組づくり

「健康長寿のまち」  
の推進

「まちが劇場」  
の推進

3次総と親和性のあるSDGsを  
5大構想に取り込む

平成30年度



SDGs

世界共通のものさし  
(2016～2030)



静岡市

# 静岡市のSDGs推進に向けた取組 ～持続可能なまちづくりのために～



## 静岡市 5大構想 × SDGs

### 「SDGs未来都市」・「SDGsハブ都市」に選定

#### SDGsの普及

平成30年5月の2018国連ニューヨーク本部SDGs推進会議で本市の普及啓発の取り組みが評価され、7月のハイレベル政治フォーラムにて、アジア初の「SDGsハブ都市※1」に位置付けられた。これを契機に「SDGs普及啓発」と国連と連携した「世界への情報発信」をさらに推進。

平成30年6月15日、政府によりSDGs未来都市※2に選定。

※1 ハブ都市（世界15都市）

SDGsの推進に向け、世界の地方政府による取組みを誘引するために、情報発信を含め、先進的な活動を行う都市

※2 未来都市（国内60都市）

SDGsを推進しようとする都市の中で、特に経済・社会・環境の3側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市



#### SDGs普及啓発への取組

・平成30年5月31日 静岡市長 田辺 信宏  
国連ニューヨーク本部 SDGs推進会議に出席

SDGsの考え方を本市の施策に反映させる取組についてスピーチ（自治体初）

SDGsと市民との距離感を近づけていくことを自らのミッションとして表明

・平成30年7月17日 静岡市副市長 美濃部 雄人  
国連ニューヨーク本部 ハイレベル政治フォーラムに出席

重点的にSDGsの普及啓発を図る「SDGs推進ウィーク」についてスピーチ

・令和元年6月6日 静岡市政策官 赤堀 文宣  
国連ニューヨーク本部 SDGs推進会議に出席

「SDGs推進ウィーク」の成果についてスピーチ

・令和元年9月24日 静岡市副市長 小長谷 重之  
国連ニューヨーク本部 ハイレベル地方自治体と地域行政フォーラムに出席

本市のSDGs普及啓発活動について国連メディアに情報発信



平成30年5月 国連ニューヨーク本部でのスピーチ



平成30年6月 SDGs未来都市選定証授与式（首相官邸）



静岡市

# 静岡市のSDGs推進に向けた取組 ～持続可能なまちづくりのために～



## SDGs推進 TGC しずおか 2020 by TOKYO GIRLS COLLECTION

2015年に国連総会で採択されたSDGs推進のためのTGC「SDGs推進 TGC しずおか 2020 by TOKYO GIRLS COLLECTION」を令和2年1月11日に開催することが決定。

2年目を迎え、より具体的にSDGsに取り組んでいきたいという想いを込め、テーマを“LET'S TAKE ACTION”とし、SDGs推進に向けた様々な施策を織り込む。

テーマは  
“LET'S TAKE ACTION”



### 《SDGs推進 TGC しずおか 2019 の効果》

- ・開催日 : 平成31年1月12日
- ・入場者数 : 延べ約7,200人
- ・経済波及効果 : 5億1,600万円
- ・パブリシティ効果 : 13億2,676万円
- ・SDGsの認知度の向上(静岡市認知度調査)  
平成29年11月時点 → 2.0%  
SDGsウィーク終了後 → 36.2%  
(平成31年1月13日時点)



©SDGs推進 TGC しずおか 2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION

## SDG s COLLECTION supported by TOKYO GIRLS COLLECTION

行政、大学、企業等が連携したSDGs普及啓発イベントをTGC開催日の令和2年1月11日に同時開催。2030年の社会を担う若者に対し、より一層SDGsの推進を図るため、SDGsに関する取組の紹介ブースや体験コーナーを出展予定。





# 5大構想

## ～世界に存在感を示す3つの都心づくり①～

### 歴史文化の拠点づくり【静岡都心】

駿府城公園を始めとする歴史的名所(ランドマーク)を活用しながら、静岡都心の賑わいを創出し、多くの観光客が訪れるまちを実現。



#### 駿府城跡天守台発掘調査・見える化の推進



駿府城跡天守台遺構  
現場見学会  
(平成30年10月20日)

平成28年8月に駿府城天守台の正確な位置や大きさ、石垣の状態などを把握するための発掘調査に着手し、4年間の計画で実施。

調査の結果、日本一の大きさの天守台、徳川家康築城当時の石垣などを発見。

同時に、発掘調査を「見える化」(一般公開)し、観光資源の一つとしてフィールドミュージアムの実現を目指す。

平成30年10月、豊臣秀吉が家臣に命じて築かせた天守台跡地が新たに発見された。

#### お堀の水辺活用事業

駿府城公園の中堀において、舟で遊覧できる環境を整備し、水辺から歴史文化のまちを楽しむ体験を提供することで、観光振興や地域振興の増進に寄与するとともに、静岡都心の賑わいを創出。



#### 歴史文化拠点の整備・遺構の保存

歴史文化施設の建設予定地で、令和元年7月に「戦国時代末期の駿府のまちの道と武家屋敷の石垣」の遺構を発見。この貴重な遺構を現状保存し、歴史文化施設の一部として活用するため、施設の整備を推進する。



発見された遺構

#### 追手町音羽町線等にぎわい空間の創出

駿府城公園と商業地区との間に位置する市道について、「駿府城公園とおまちを繋ぐ魅力ある道」となるよう、官民連携によるにぎわい創出、歩いて楽しいまちづくりを推進する。



整備イメージ



駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーション  
平成30年5月1日オープン

スポーツ振興、駿府城公園周辺地区のにぎわい創出のため、ランニング環境整備を実施



# 5大構想

## ～世界に存在感を示す3つの都心づくり②～

### 海洋文化の拠点づくり【清水都心】

清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を推進することで、交流人口の増加と地域経済の活性化、海洋人材の育成を図り、国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現を目指す。

【にぎわい】  
「観光やMICEによる  
ウォーターフロントの活性化」

【研究開発・産業振興】  
「海洋産業イノベーション  
の推進」

【人材育成】  
「将来の海洋人材の  
集積・育成」



### 海洋文化拠点施設整備事業

「国際海洋文化都市・清水」の実現に向け、世界に存在感を示す都心づくりを進めるため、清水港日の出エリアにおいて中核となる(仮称)海洋・地球総合ミュージアムの整備を推進。

駿河湾をテーマとした海洋・地球を総合的に理解することができる世界初の水族館と博物館のハイブリット展示を予定。

令和2年度～4年度:設計・建設  
令和5年4月～7月頃:開館予定



整備イメージ

### クルーズ船等の誘致・開港120周年事業

「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾に選定された清水港は、令和元年8月に開港120周年を迎え、今後も客船や帆船を誘致することにより、賑わいを創出し市民が憩い親しめる港づくりをより一層推進する。

また、県と民間と連携し、清水港ウォーターフロントエリアの賑わいを創出することにより交流人口の拡大を図る。



### 新清水庁舎整備事業

現清水庁舎は災害発生時、耐震性不足により被害を受けることが想定されている。JR清水駅東口において、災害に強く、清水駅周辺に魅力と賑わいをもたらすとともに、更に深刻化する高齢化社会に向けて「コンパクトシティ」の実現に資する、新清水庁舎の整備を推進。

令和2年度～4年12月:設計・建設  
令和5年1月:業務開始予定



整備イメージ



# 5大構想

## ～世界に存在感を示す3つの都心づくり③～

### 教育文化の拠点づくり【草薙・東静岡地区】

副都心としての拠点整備を進めてきた東静岡駅と草薙駅周辺地区を、教育文化の薫りが漂い、多くの若者が集まり、新たな賑わいと交流が生まれる拠点とする。

#### 草薙駅周辺エリアマネジメント

大学、学生を巻き込んだ価値の高い教育文化拠点づくりの推進、地域主体によるまちづくりの形成や駅周辺エリアの価値観向上による定住人口の維持や促進を目指す。



#### 東静岡「アート&スポーツ／ヒロバ」

3次総で文化・スポーツの拠点として位置付けた東静岡市有地(2.5ha)について「賑わいづくりの実験場」として活用するための基盤整備及びローラースポーツ、アート、ホビーイベント等の展開を推進。



スケートボード：東京2020オリンピック正式種目

### 「まちは劇場」の推進

文化・クリエイティブ活動への支援や、公共空間の利活用を通じて、大道芸で培ってきた市民の創造性や感性をみがきあげ、わくわくドキドキの笑顔溢れるまちにする。

#### 賑わい創出イベント推進事業

大道芸ワールドカップ、コスプレイヤーが集結する富士山コスプレ世界大会を通じて、国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちの実現を目指す。



#### 夜の舞台演出事業

日本夜景遺産「日本平」、「日本平夢テラス」、「久能山東照宮～天下泰平のあかり～」をはじめ、本市の夜景の魅力をアピールし、夜の賑わいを創出。



#### まちかどピアノ事業

音楽を通じて人と人のつながりを生み出すため、まちなかに誰でも、自由に、気軽に弾ける「ストリートピアノ」を設置し、「音楽に親しむ場」、「表現の場」を創出し、新たな賑わい拠点を形成。



## 5大構想 ～生活の質を高める2つの仕組づくり～

### 「健康長寿のまち」の推進

人生100年時代を見据え、あらゆる年齢の人が住み慣れた地域で、いつまでも健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができるまちを実現する。

#### 生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業

シニアをはじめとして地域の誰もが、健康でアクティブな生活や社会活動への参加などを通じて、生涯活躍できる環境づくりに取り組み、住み慣れた地域でできる限り健康で自分らしく暮らすことができる「健康長寿のまち」を推進する。



地域福祉共生センター みなくる

#### 高齢者就労促進事業(NEXTワークしずおか)

市役所内に官民連携の高齢者就労支援窓口「NEXTワークしずおか」を新たに開設し、多くの元気な高齢者が健康長寿で企業や地域で活躍することができる環境整備を推進する。

令和元年6月18日オープン！



#### 市民参加型フレイル予防プロジェクト

65歳以上の高齢者を対象に、簡単に楽しく自分の健康状態を知る「フレイルチェック」を実施し、健康意識を高めてもらうとともに、「食生活」、「運動」、「社会参加」からなるフレイル予防の取組を促進。

健康増進や介護予防の自発的な活動を促進することにより、健康寿命の延伸を目指す。



椅子立ち上がりテストの様子

#### がん対策の推進

「静岡市がん対策推進条例」に基づき、がん対策を総合的、計画的に推進することにより、がんにかかったとしても自分らしく生きることができる社会の実現を目指す。

平成31年4月1日  
静岡市がん対策推進条例施行



がんとの共生社会のイメージ

# 防災・減災の取組

## 消防体制の強化

### 消防救急広域体制の開始



平成28年4月より静岡県中部圏域の2市2町と消防救急体制をスタート。

### 消防航空隊の活動

消防航空隊を編成し、日常的に発生する救急搬送、山岳遭難事故、水難事故などの消防活動や、全国規模の災害応援活動に対応



消防ヘリコプター「カワセミ」

## 地震対策の推進

### 緊急情報防災ラジオ普及推進事業

必要な時に自動起動し屋内において防災情報などの受信が可能な「緊急情報防災ラジオ」の再販売を実施し、情報伝達手段の多様化を図る。



## 津波対策の推進

### 津波避難ビル指定の増加

津波避難ビルについては、東日本大震災以降、緊急津波対策事業において追加指定を推進。

〈指定の状況・延べ数〉

| 23年度      | 24年度      | 25年度      | 26年度      | 27年度      | 28年度      | 29～30年度   |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 101<br>施設 | 107<br>施設 | 123<br>施設 | 139<br>施設 | 142<br>施設 | 144<br>施設 | 147<br>施設 |



### 津波避難タワー等の整備

津波避難タワー等については、緊急津波対策事業にて、全19箇所を整備予定。

〈整備の状況・延べ数〉

| 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 4箇所  | 6箇所  | 11箇所 | 14箇所 | 16箇所 | 18箇所 |



## 浸水対策の推進

### 河川改修・雨水ポンプ場整備

ゲリラ豪雨や台風に強いまちを実現し、市民の大切な生命と財産を守るために、浸水対策推進プランに基づき、河川改修や雨水ポンプ場を整備



河川改修





# 人口活力の維持対策

## MICEの推進等による交流人口の拡大

### オリンピック・パラリンピックの合宿等誘致

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、本市の魅力を世界に向けて発信。スポーツを契機とした各種交流を実施。

平成29年～令和2年の4年間、スペインバトミントン代表・台湾陸上代表が事前合宿等を実施



台湾陸上代表による学校訪問

### ラグビーワールドカップ2019公認キャンプ地

2019年ラグビーワールドカップのイタリア代表が令和元年9月下旬より公認キャンプ地として静岡市で合宿。

### 連携中枢都市圏(広域連携)事業の推進

静岡県中部地域の5市2町(静岡市、島田市、藤枝市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町)で「しずおか中部連携中枢都市圏事業」を推進。



中部5市2町イベントニュース発行事業



茶氷プロジェクト 30店舗が参加!

#### <主な事業>

- ・静岡地域連携DMO推進事業
- ・大学連携事業
- ・水産物を活用した産業活性化事業
- ・茶氷プロジェクト

### 日本平動物園 開園50周年事業

開園50周年を契機に「いのち」の大切さを伝える「世界に輝く動物園」を目指し、魅力向上及び来園者の増加を目指す。

令和元年8月カピバラ舎オープン

現在約160種700点を飼育



### 第74回日本選手権競輪(GI)開催

競輪で最も伝統のあるレース「第74回日本選手権競輪」(GI)が静岡競輪場で開催することが決定。開催に向け、売上向上を図るとともに、本市のシティプロモーションの推進、交流人口の拡大を目指す。



マスコットキャラクター  
レーサーパンダ

KEIRINグランプリ2018の様子  
(H30.12.28～H30.12.30)



令和2年5月5日～10日開催決定

### 静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト

人口減少・高齢化社会において生活の基盤である交通インフラを持続可能なものにしていくため、官民連携で「静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト」を組織し、実証実験を重ねMaaSの導入を目指す。

実証実験の様子(H30. 2月)



平成30年6月、経済産業省が支援する「パイロット地域分析事業」と国土交通省が支援する「新モビリティサービス推進事業」に「先行モデル」として同時に本事業が選定！（先行モデルに同時に選定された事業は全国で4事業のみ）

マース(Mobility as a Service)とは・・・

出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに提供する等、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとしてとらえる理念



静岡市



# 人口活力の維持対策

## 首都圏からの移住・定住の促進

### 静岡市移住支援センター

全国の市では唯一、東京有楽町に「静岡市移住支援センター」を開設（平成27年4月）。移住相談のほか、定期的に移住セミナー等を開催。主に首都圏在住者を対象とした移住をサポート。

- ・専属の移住相談員2名配置
- ・移住支援セミナーの開催
- ・移住フェアへの出展 ほか

<開設後センター経由の移住者実績>



移住支援センターの様子



移住フェアへの出展

| 平成27年度  | 平成28年度   | 平成29年度   | 平成30年度   | 令和元年度    |
|---------|----------|----------|----------|----------|
| 16名(9組) | 52名(29組) | 88名(37組) | 47名(23組) | 24名(13組) |

※令和元年は8月現在

### 新幹線通学貸与制度の創設

大学進学による若者の地元就職を推進するため、県外大学等への通学費の一部を貸与する制度を創設。

- ・市内から県外に通学する学生に、一月最大3万円を貸与
- ・卒業後、市民税の所得割を完納するなどの条件を満たせば返還を免除



東京まで新幹線で60分

| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|--------|--------|--------|-------|
| 178名   | 288名   | 393名   | 469名  |

### 「WeWork」を活用した企業誘致推進事業

定住人口拡大のため、コミュニティ型シェアオフィス「WeWork」を活用し、首都圏企業の誘致等の推進を図る。本市のシティプロモーションや市内企業のビジネスマッチングのための情報発信、イベントの開催等を実施。

平成30年10月、自治体として初めて都内の「WeWork」に入居



「WeWork」での本市主催イベントの様子

### 首都圏テレワーカー移住の促進

「仕事は変えずに住まいは静岡」をキーワードに一定期間本市に居住し、民間のコワーキングスペース等を活用して試験的にテレワークを実施するお試しテレワークを通じ、首都圏企業に本市への移住促進へつなげる。



テレワーカー移住促進事業

### 中山間地移住促進事業

空き家情報バンクを通じて賃借料や購入した住宅の改修費に対し、補助金を交付。過疎化の深刻な中山間地域の集落、コミュニティの維持及び活性化を図り、オクシズ（静岡市中山間地域）への移住を促進する。



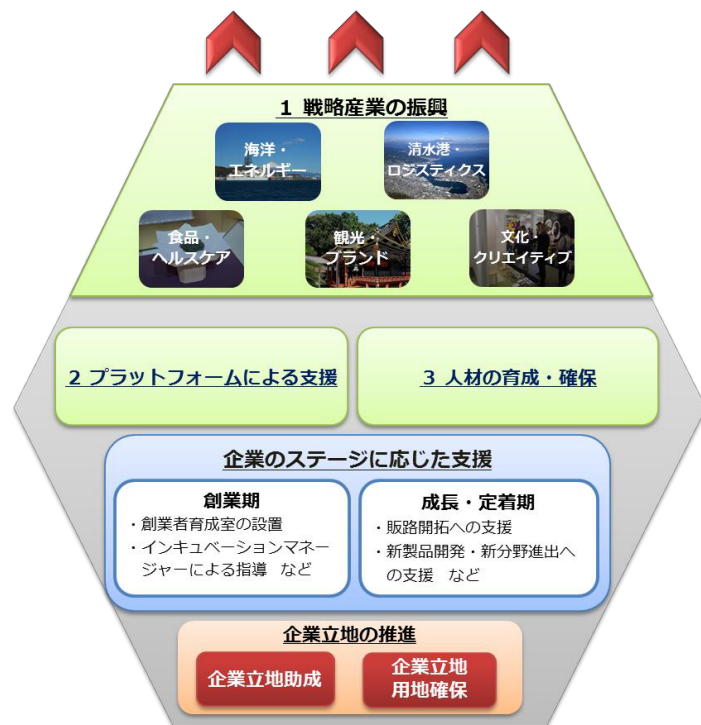
移住用住宅イメージ

# 産業振興の取組

## 第2次静岡市産業振興プラン

### プランの目標(令和4年)

市内経済の活性化 → 市内総生産額 3兆2,140億円  
雇用の創出 → 市内就業者数 343,100人



#### ※戦略産業

社会経済環境の構造変化に直面し、今後も内外環境の一層の変化が予想される中、本市経済をけん引する力を秘めた産業を「戦略産業」と位置付けている。戦略産業の重点的な振興を通じて、その果実を本市の産業全体に広く波及させていく。

## 5つの戦略産業

### 海洋・エネルギー産業

海洋関連産業における新事業創出を目指した取り組みや、エネルギーの地産地消、水素エネルギーの利活用の推進。

■海洋産業クラスターの推進 など

### 清水港・ロジスティクス産業

高速道路などの社会基盤の活用と内陸拠点の整備・連携によりロジスティクス産業の集積を推進。

■ロジスティクス産業立地促進事業、清水港ポートセールスの実施、大谷・小鹿地区への企業立地 など

### 食品・ヘルスケア産業

有力メーカーや研究機関が集積している食品産業を基盤として、医療・介護など、成長分野であるヘルスケア産業を育成していく。

■健康・食品産業支援、中小企業海外展開支援 など

### 観光・ブランド産業

ホビー、三保松原、南アルプスなど世界レベルの地域資源の磨きあげと、まちなかの魅力向上による観光の振興。

■ホビーのまち静岡の推進、官民連携によるMICE誘致の推進 など

### 文化・クリエイティブ産業

中心市街地へのクリエイターの集積や、デザイン等による価値の創造を図る。

■文化・クリエイティブ産業振興センター運営、クリエイターと企業のマッチング推進 など



CCC（文化・クリエイティブ産業振興センター）での展示



海洋研究開発機構 探査船「ちきゅう」

## 戦略産業への支援

### 中小企業アクセラレーション支援事業

中小企業の事業拡大の主な阻害要因である販路及び売上の課題解決に向け、アクセラレーションプログラム(事業活動の加速化)を実施し、成長を促していく。

■定期的なメンタリングや個別指導、大企業の資金や販路等の資源活用による事業連携 など



静岡市

# 行財政改革の推進

～これまでの行財政改革の成果～

## 第1次行財政改革の成果（平成17～21年度）

職員数の減  
**420人**

効果額  
**392億円**

## 第2次行財政改革の成果（平成22～26年度）

職員数の減  
**165人**

効果額  
**555億円**

対象項目

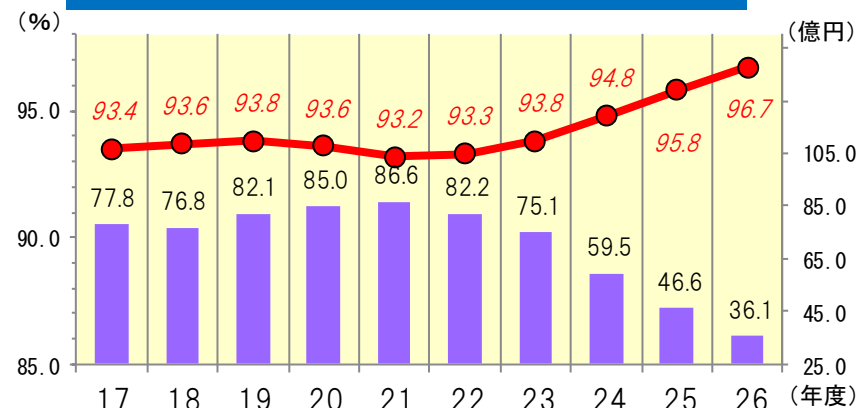
**394項目**

|     | 効果額の主な内容           | 効果額   |
|-----|--------------------|-------|
| 節減  | 給与制度改革・定員管理計画(人件費) | 112億円 |
|     | 事務事業の見直し・統廃合等      | 58億円  |
|     | 補助金等の見直し           | 31億円  |
|     | 民間活力の活用            | 24億円  |
|     | 公共工事のコスト縮減等        | 236億円 |
| 収入増 | 未利用土地・建物等の売却       | 25億円  |
|     | 市税等の収納率の向上         | 11億円  |

## 正規職員の推移



## 市税収納率と収入未済額の推移



### <収納率向上への取組>

- ・滞納案件に対する早期対応の強化
- ・滞納整理事務スケジュールに沿った進捗管理の徹底
- ・専門部署を設け、不動産公売等を積極的に実施



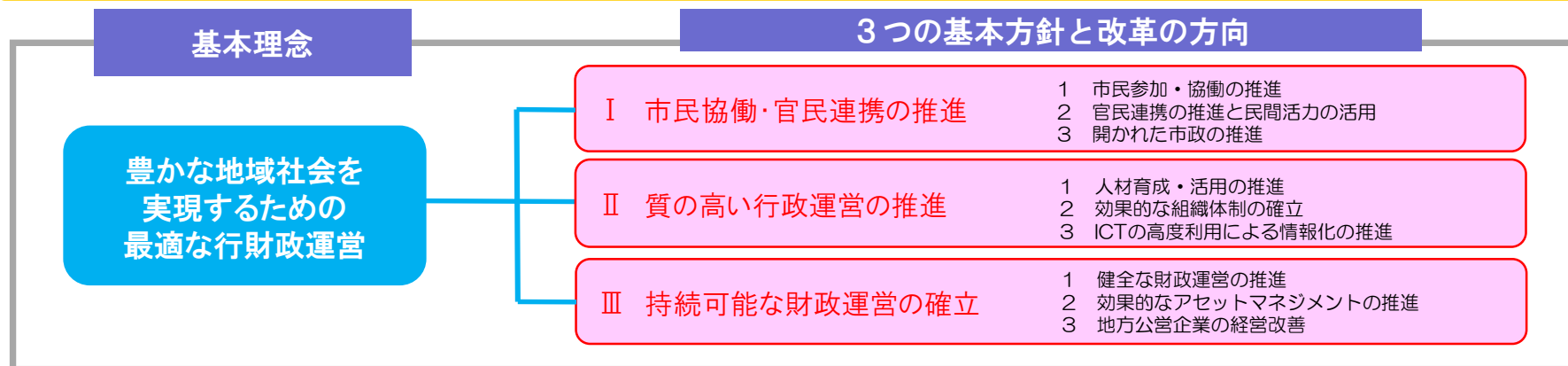
静岡市



# 行財政改革の推進

～これからの行財政改革の取組～

## 第3次行財政改革推進大綱(平成27～令和4年度)の概要



## 前期実施計画（平成27～30年度）の主な取組と効果額

(百万円)

| 年 度     |         | H27   | H28   | H29   | H30   | 合計     | 主な取組内容                                                                   |
|---------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------------------------------------------------------------------------|
| 収入増額    | 計画額     | 1,613 | 2,430 | 3,254 | 3,757 | 11,054 | ○市税等の収納率の向上<br>○課税客体の的確な把握による 税収確保<br>○競輪事業から一般会計への繰入<br>○未利用地等の売却の推進 など |
|         | 実績額     | 2,488 | 3,384 | 3,835 | 3,846 | 13,553 |                                                                          |
| 削減額     | 計画額     | 1,481 | 2,146 | 2,313 | 2,954 | 8,894  | ○見直し項目設定による 予算の定期点検<br>○事務事業の見直し・統廃合 など                                  |
|         | 実績額     | 1,516 | 2,211 | 2,566 | 2,971 | 9,264  |                                                                          |
| 将来負担の軽減 | 計画額     | 1,632 | 1,592 | 1,844 | 1,601 | 6,669  | ○アセットマネジメントの推進<br>(道路橋りょうの適切な維持管理 など)                                    |
|         | 実績額     | 1,509 | 1,623 | 1,926 | 1,618 | 6,676  |                                                                          |
| 合 計     | 計画額     | 4,726 | 6,168 | 7,411 | 8,312 | 26,617 |                                                                          |
|         | 実績額     | 5,513 | 7,218 | 8,327 | 8,435 | 29,493 |                                                                          |
|         | 達成率 (%) | 116.7 | 117.0 | 112.4 | 101.5 | 110.8  |                                                                          |

# 行財政改革の推進

～これからの行財政改革の取組～

## 効果的なアセットマネジメントの推進

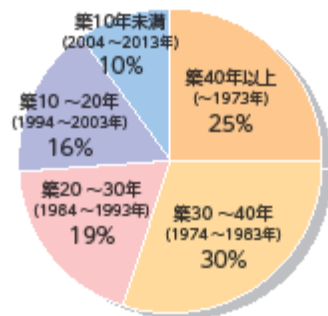
### 公共施設を取り巻く課題

#### 公共施設の老朽化

公共建築物、インフラ資産（道路、橋りょう等）の老朽化が進行。

10年後には学校、市営住宅等の  
半数以上の建築物が築40年以上に。

●築年別延床面積の割合



平成24年3月末時点

#### 多額の維持・建替経費が必要

今後30年間で建物の維持・建替に要する費用を試算すると、年間300億円超。  
これまでに支出してきた金額は過去4年間の平均で1年間約117億円。  
生産年齢人口1人あたりの1年間の負担額にすると次世代の負担が約4倍に。

### 「静岡市アセットマネジメント基本方針」

平成26（2014）年4月策定

#### 基本方針1

#### 総資産量の適正化

適正な施設保有量を実現するため、  
2043年度までに公共建築物の  
総延床面積を20%縮減。

#### 基本方針2

#### 長寿命化の推進

計画的な予防保全に取り組むことで、  
財政負担を軽減・平準化。

#### 基本方針3

#### 民間活力の導入

官民の役割分担を明確にし、  
民間企業等の持つノウハウや  
資金調達により、財政負担の軽減と  
サービス水準を向上。

### アセットマネジメント推進体系

#### ①現状分析・今後の方向性

H27年度～  
(2015)

施設カルテ



H28年2月  
(2016)

群別マネジメント方針



H28年9月～  
(2016)

配置適正化方針

#### ②計画・実行

毎年度見直し

個別施設計画



総合計画・予算編成



アクションプラン

(例)



PF手法による  
学校給食センター整備



生涯学習施設と  
市立高校の複合化



静岡市

## 第2部 静岡市の財政状況



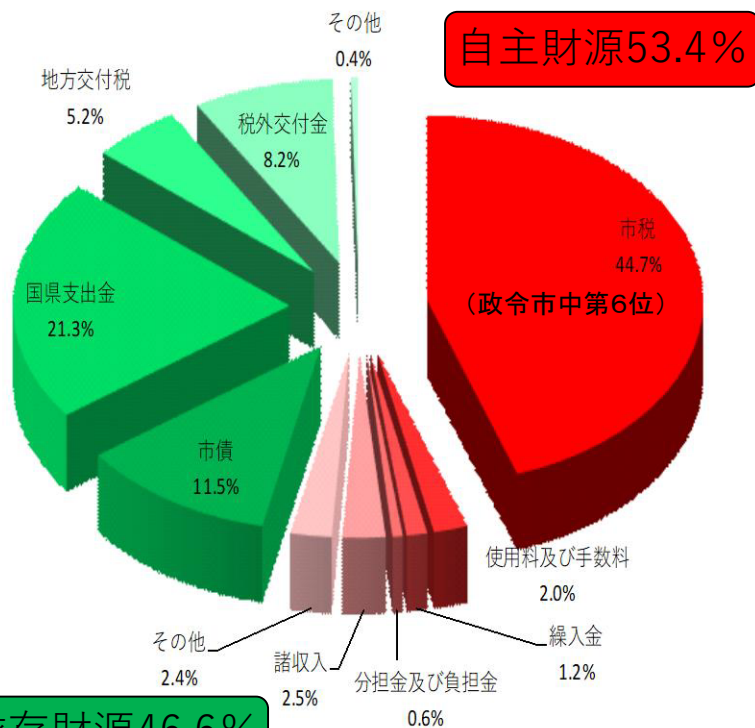
# 決算 ～決算の概要(平成30年度普通会計決算 歳入)～

歳入決算総額は3,130億円、前年度比18億円(0.6%)の減。

市税は1,399億円で130億円(10.2%)の増。市債は360億円で43億円(10.7%)の減。

国県支出金は664億円で18億円(2.6%)の減。

地方交付税は163億円で4億円(2.5%)の増。



## 主な歳入の状況

(単位: 億円、%)

|            | 平成30年度 | 平成29年度 | 増減    | 増減率    |
|------------|--------|--------|-------|--------|
| 市          |        |        |       |        |
| 税          | 1,399  | 1,269  | 130   | 10.2   |
| 内、個人市民税    | 545    | 422    | 123   | 29.1   |
| 内、法人市民税    | 119    | 108    | 11    | 10.2   |
| 内、固定資産税    | 530    | 534    | △ 4   | △ 0.7  |
| 内、都市計画税    | 106    | 106    | 0     | 0.0    |
| 税外交付金      | 261    | 374    | △ 113 | △ 30.2 |
| 内、地方消費税交付金 | 142    | 138    | 4     | 2.9    |
| 地方交付税      | 163    | 159    | 4     | 2.5    |
| 市債         | 360    | 403    | △ 43  | △ 10.7 |
| 国県支出金      | 664    | 682    | △ 18  | △ 2.6  |
| 歳入合計       | 3,130  | 3,148  | △ 18  | △ 0.6  |

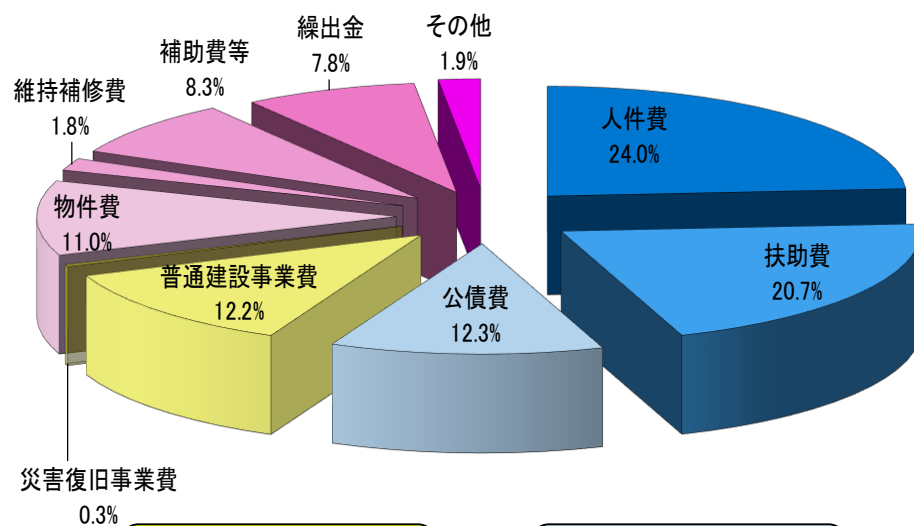


# 決算 ～決算の概要(平成30年度普通会計決算 歳出)～

歳出決算総額は3,047億円、前年度比34億円(1.1%)の減。

義務的経費は1,735億円で4億円(0.2%)の減。

投資的経費は382億円で57億円(13.0%)の減。



投資的経費12.5%

義務的経費57.0%

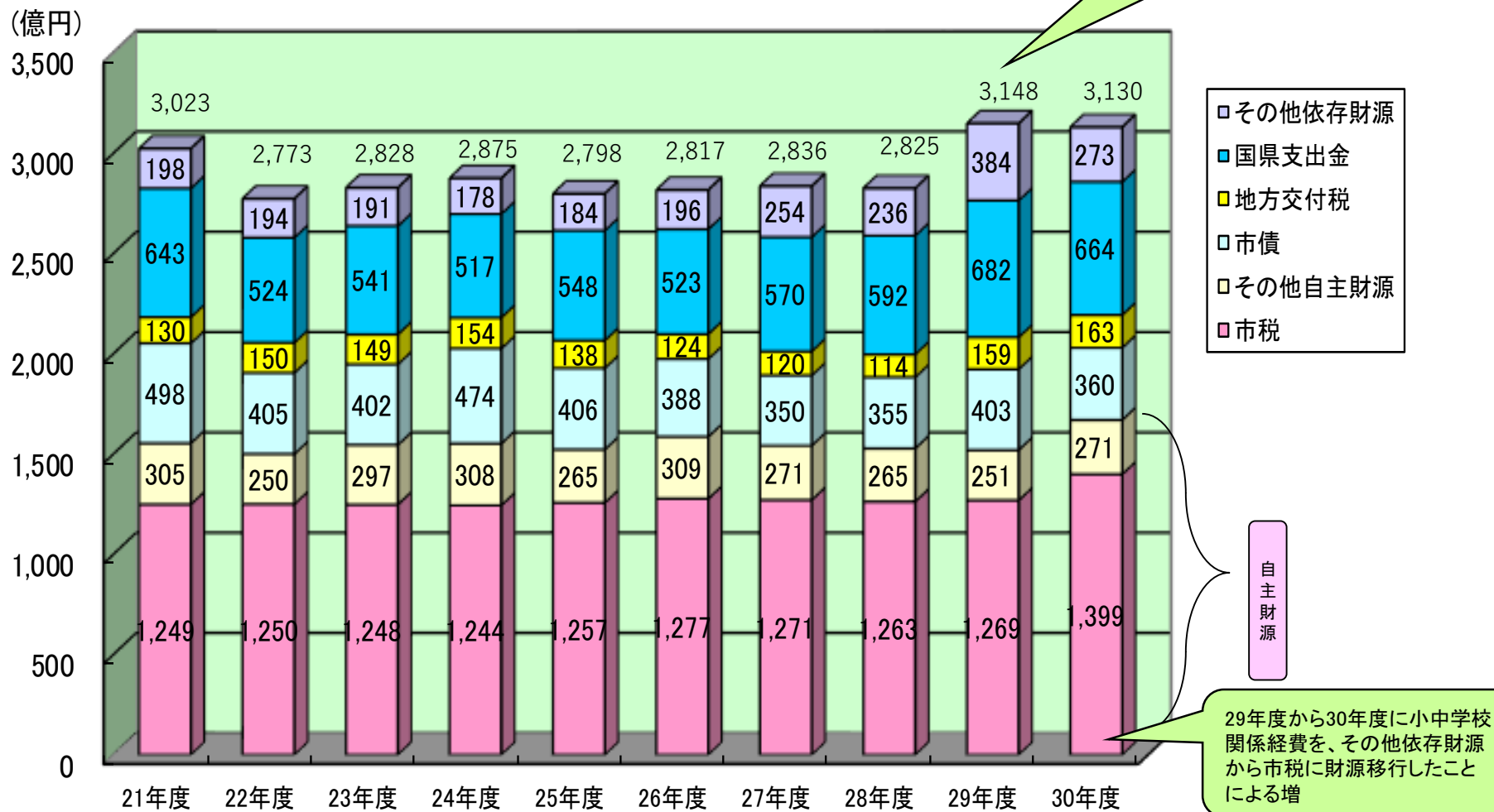
(単位: 億円、%)

|       | 平成30年度 | 平成29年度 | 増減   | 増減率    |
|-------|--------|--------|------|--------|
| 義務的経費 | 1,735  | 1,739  | △ 4  | △ 0.2  |
| 人件費   | 730    | 740    | △ 10 | △ 1.4  |
| 扶助費   | 630    | 618    | 12   | 1.9    |
| 公債費   | 375    | 381    | △ 6  | △ 1.6  |
| 投資的経費 | 382    | 439    | △ 57 | △ 13.0 |
| 歳出合計  | 3,047  | 3,081  | △ 34 | △ 1.1  |



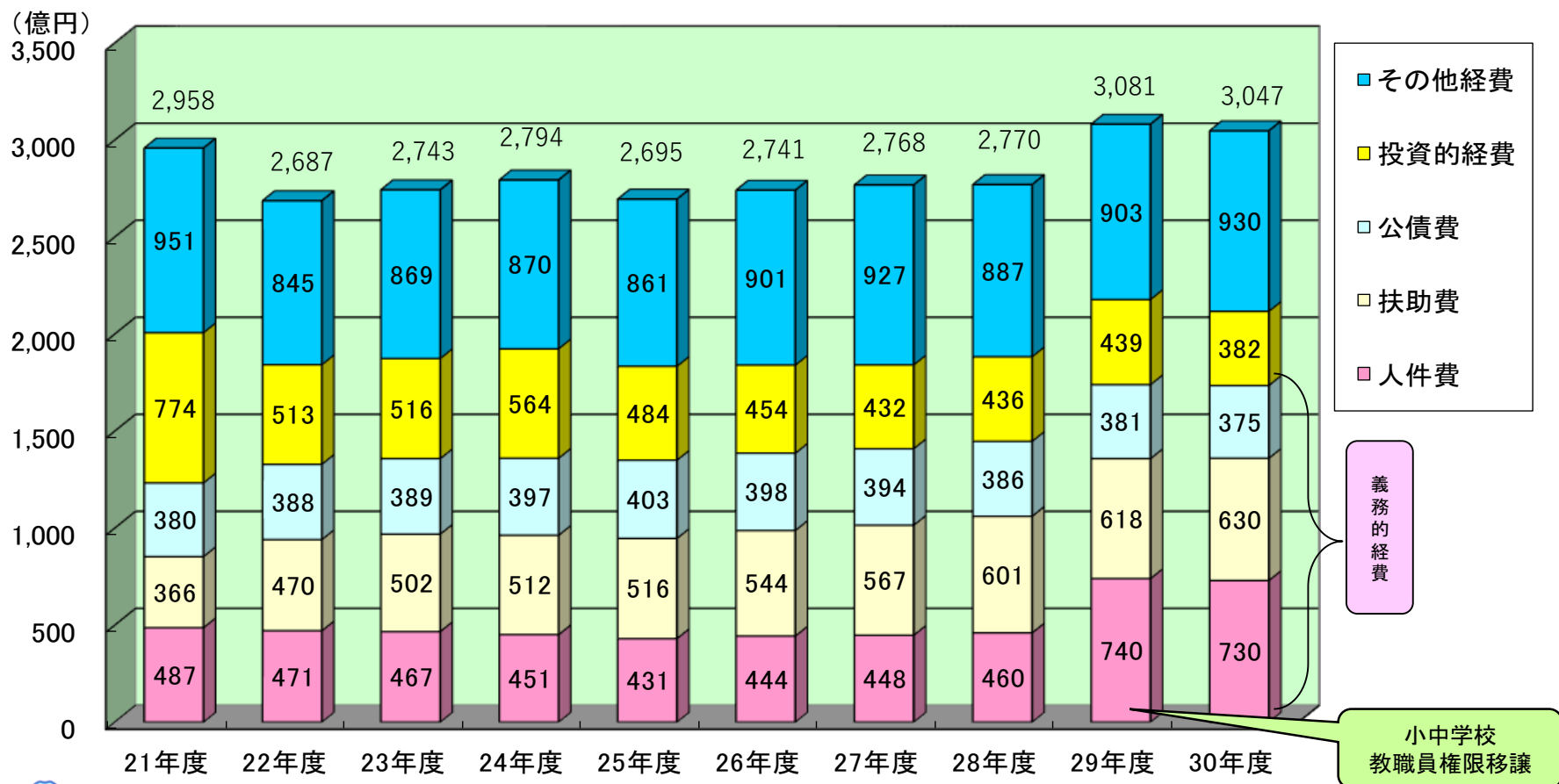
# 決算 ～決算の推移(普通会計 歳入)～

安定して自主財源を確保



# 決算 ～決算の推移(普通会計 歳出)～

公債費は減少傾向、扶助費は増加傾向。  
投資的経費は平成21年度をピークに抑制。



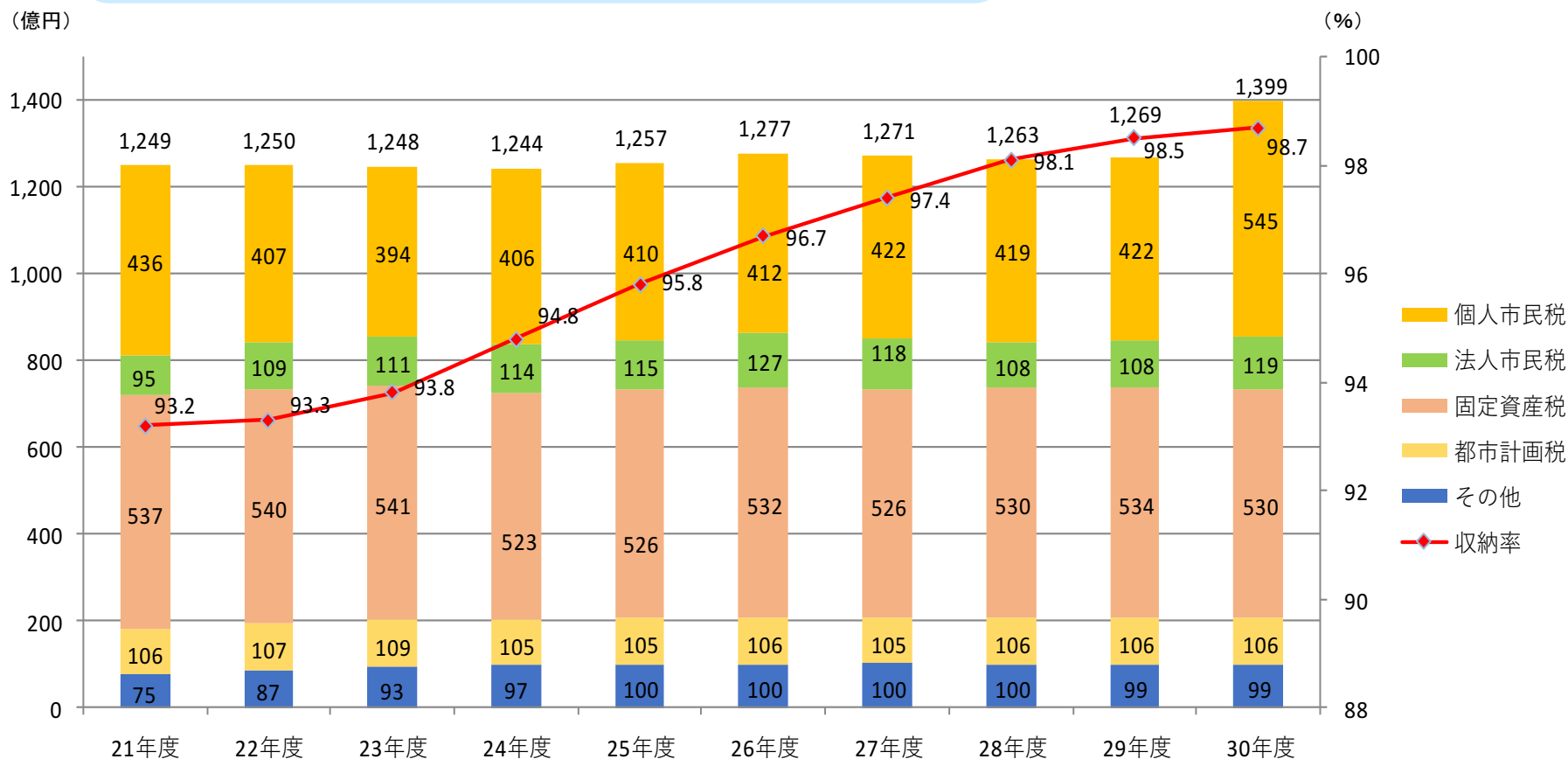


# 決算 ～市税の状況(平成30年度)～

市税の収納率は引き続き向上。総額は、個人市民税が小中学校教職員関係経費の財源移行などにより増収。

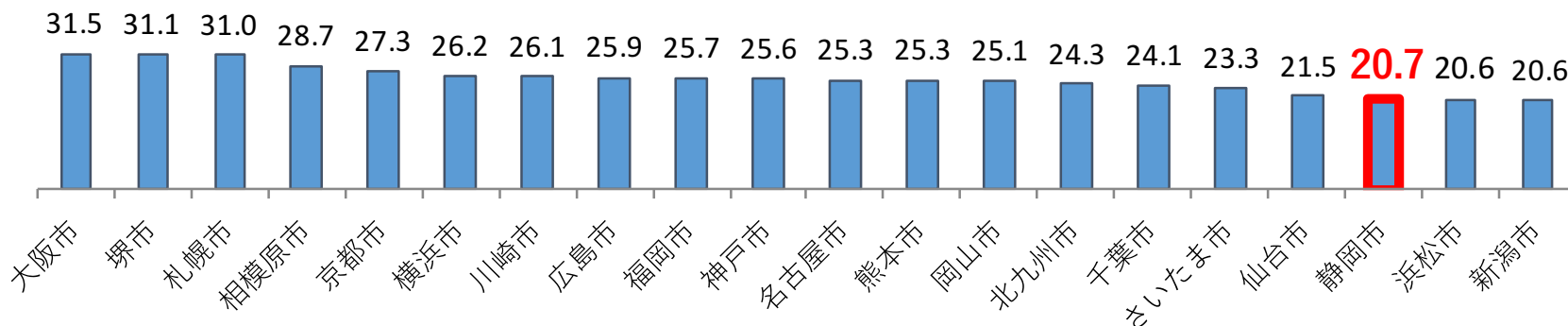
## <収納率向上への取組>

- ・滞納案件に対する早期対応の強化
- ・滞納整理事務スケジュールに沿った進捗管理の徹底
- ・専門部署を設け、不動産公売等を積極的に実施

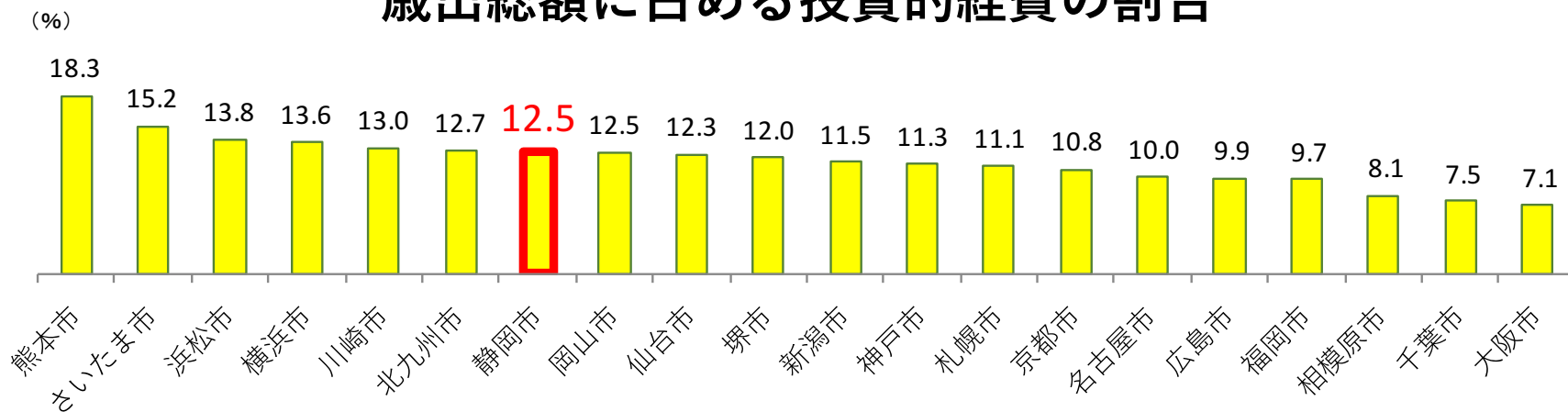


歳出総額に占める扶助費の割合は、政令市中3番目に低く、  
投資的経費の割合は、政令市中7番目に高い。

## 歳出総額に占める扶助費の割合

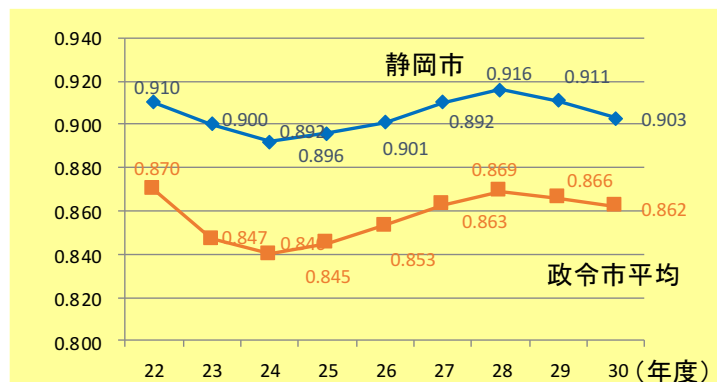


## 歳出総額に占める投資的経費の割合

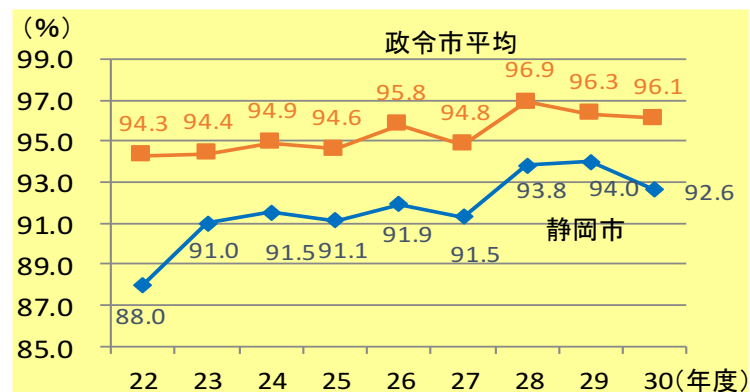


# 決算 ～財政指標・健全化判断比率の推移～

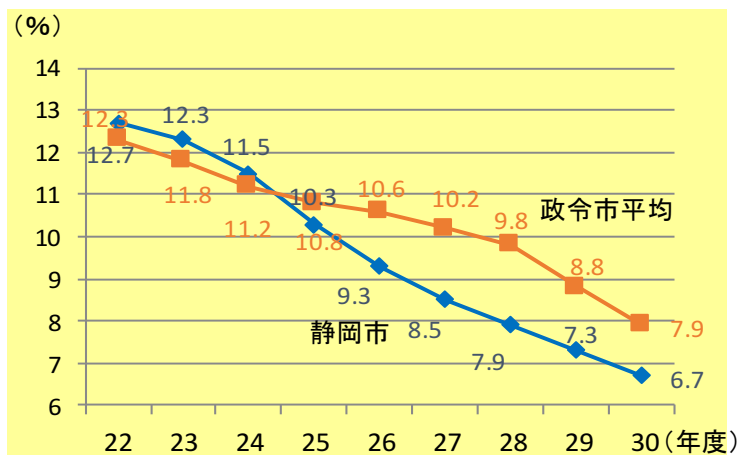
## 財政力指数



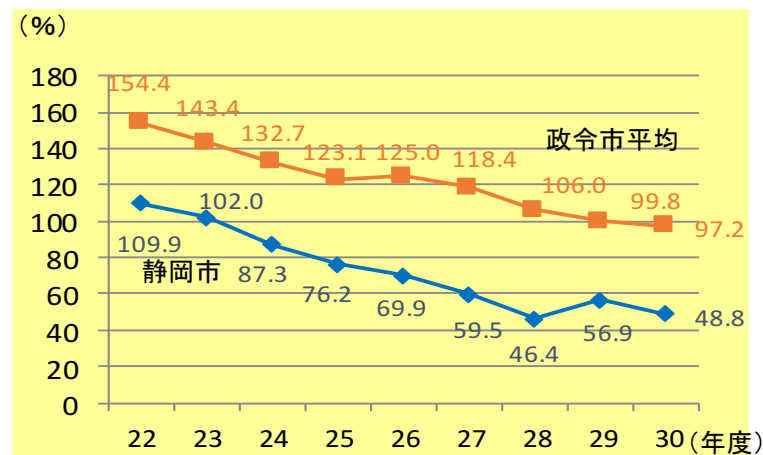
## 経常収支比率



## 実質公債費比率



## 将来負担比率



※ 実質赤字比率、連結実質赤字比率は、ともに「－」



静岡市

# 決算 ～基金残高の状況(平成30年度)～

## 基金の現在高

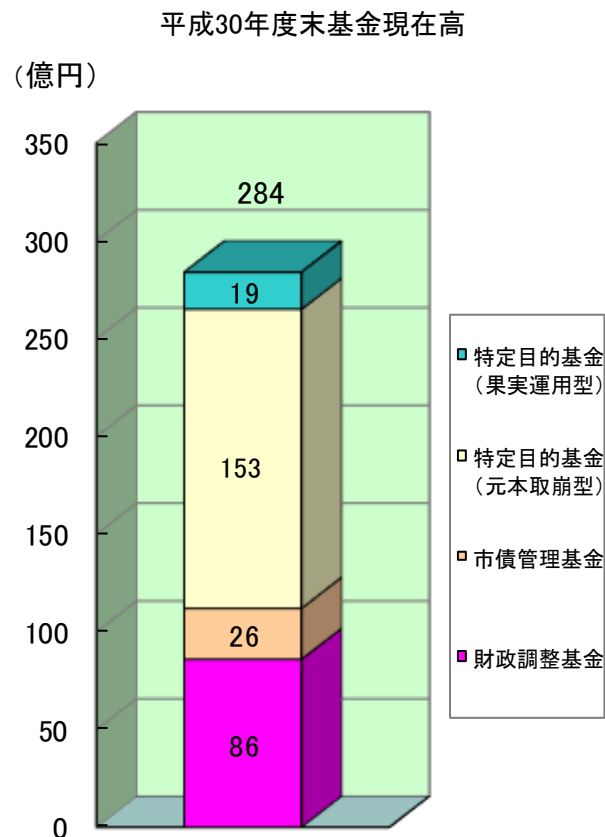
**284億円**  
(残高610億円のうち、満期一括償還積立金は326億円)

- 今後の公債費償還負担等を考慮し、年度間の財源調整を行うため、基金の残高を確保している。
- ※ 基金の現在高は、財政調整基金、市債管理基金及びその他特定目的基金の合計額。  
財政調整基金 86億円、市債管理基金 26億円、  
その他特定目的基金 172億円
- ※ 満期一括償還積立金326億円を含んだ場合の市債管理基金は352億円

## 市民一人あたりの基金残高

**40千円**

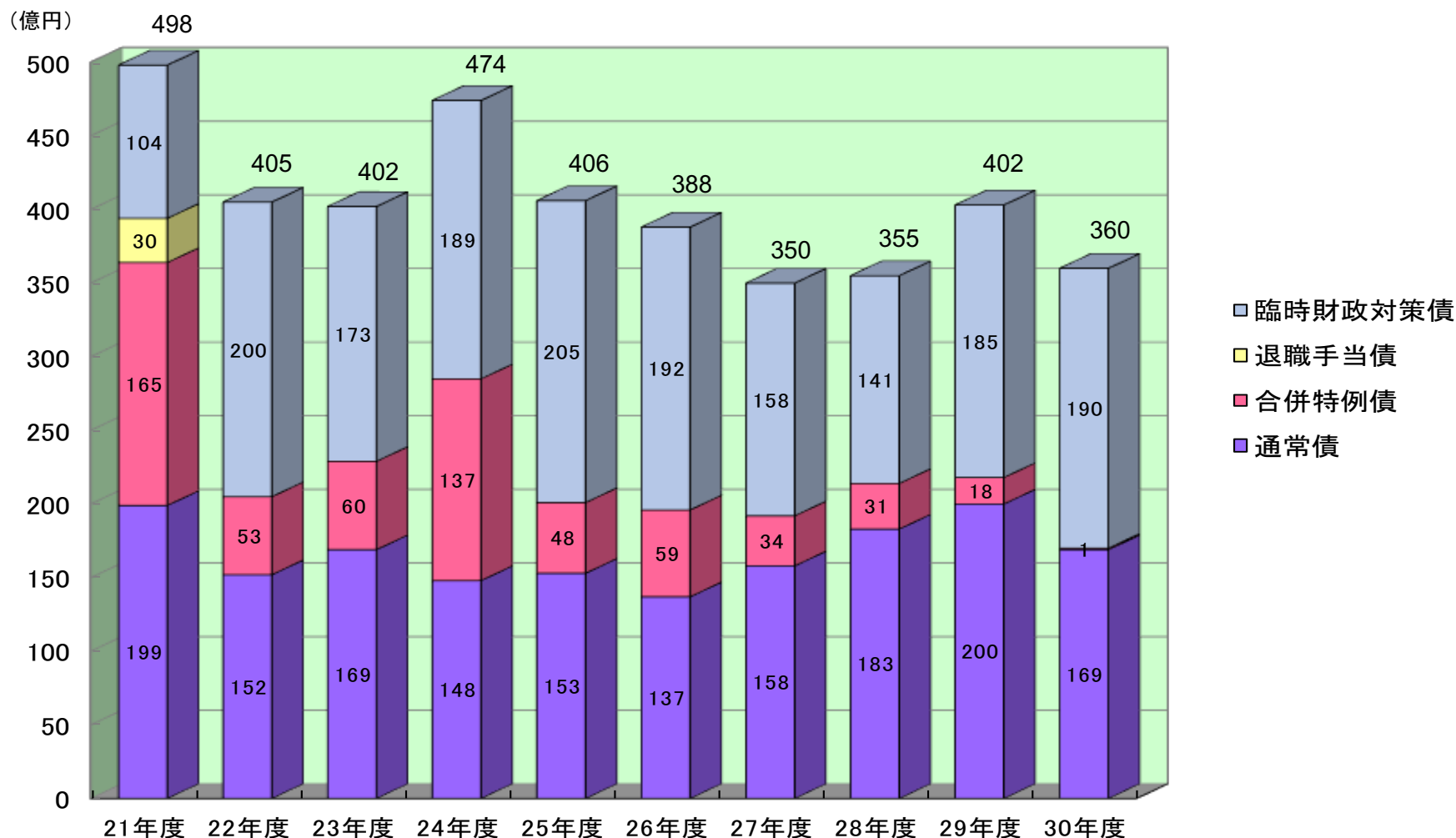
- 市民一人あたりの基金残高の政令市平均は39千円となっており、政令市の中では8番目に多い残高となっている。





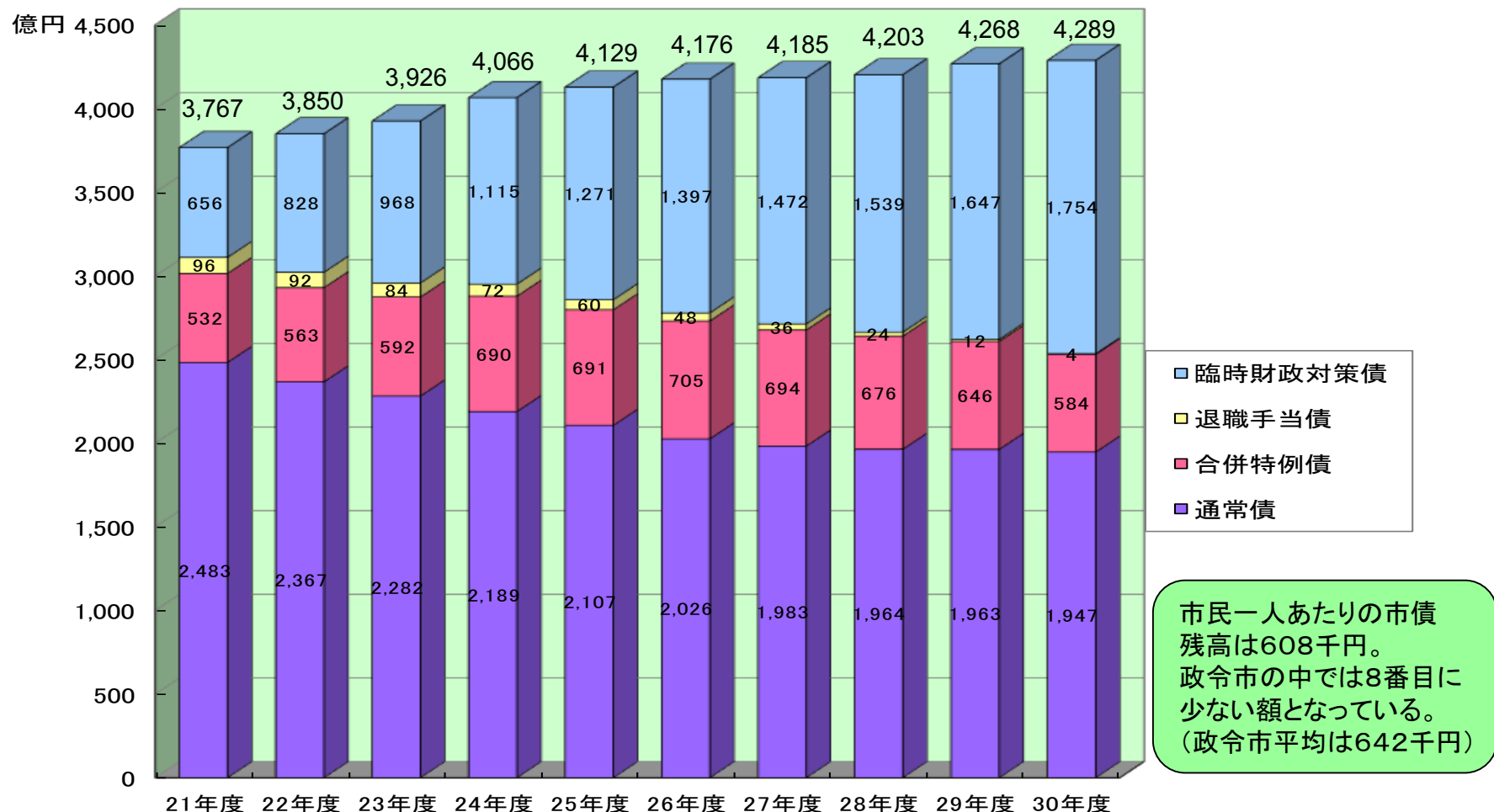
# 市債の状況 ～市債発行の推移(普通会計)～

事業を着実に推進するために市債を発行。通常債は抑制的に管理。



# 市債の状況 ～市債残高の推移(普通会計)～

臨時財政対策債の累増により、市債残高の総額は増加しているが、通常債の残高は、適正な発行管理により減少している。

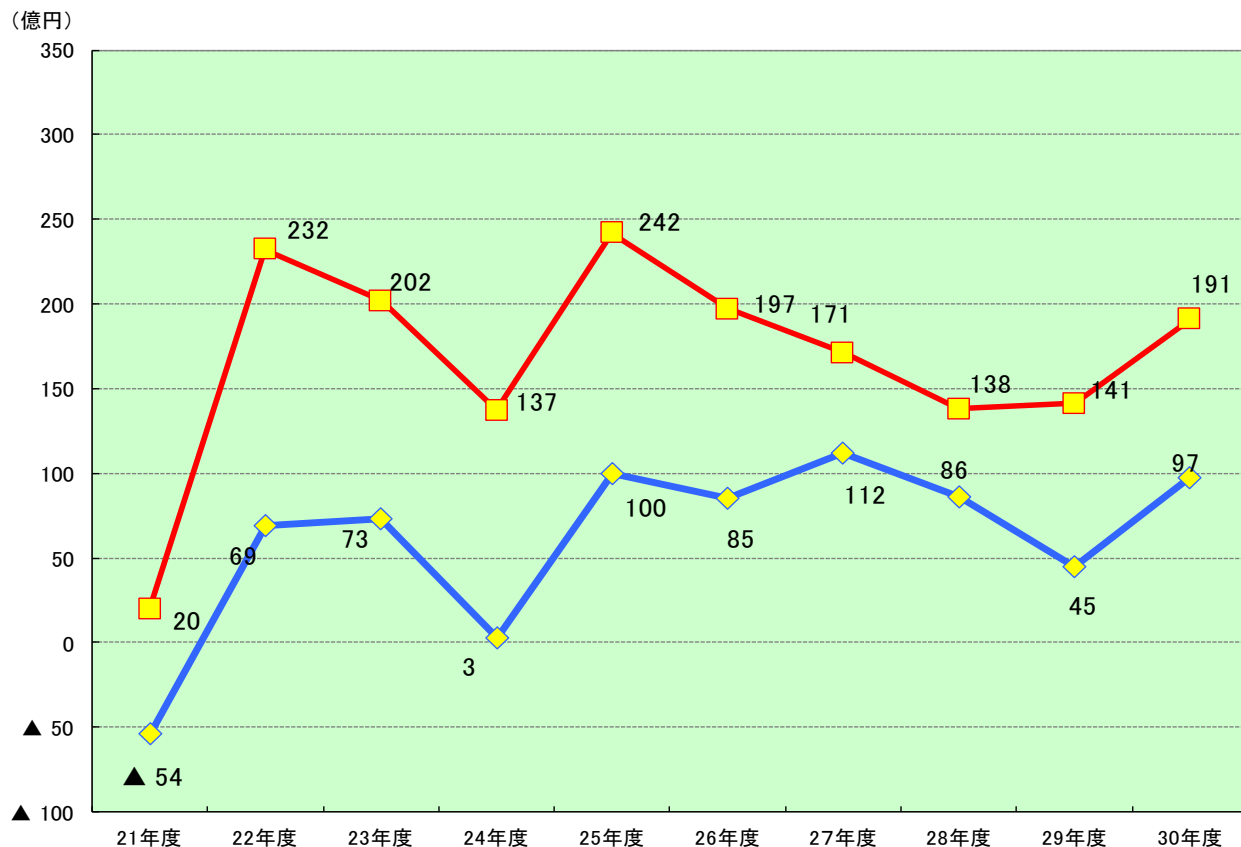


※満期一括償還方式で発行した市債の償還のための積立金は、償還したもとして市債残高から差し引いています。



# 市債の状況 ～プライマリーバランスの推移(普通会計決算)～

臨時財政対策債を含めても黒字を維持



プライマリーバランス(基礎的財政収支)とは、市債を除いた歳入と公債費を除いた歳出との差引額。

$(\text{歳入総額} - \text{市債}) - (\text{歳出総額} - \text{公債費})$

- 市債に臨時財政対策債を含めない場合
- 市債に臨時財政対策債を含む場合

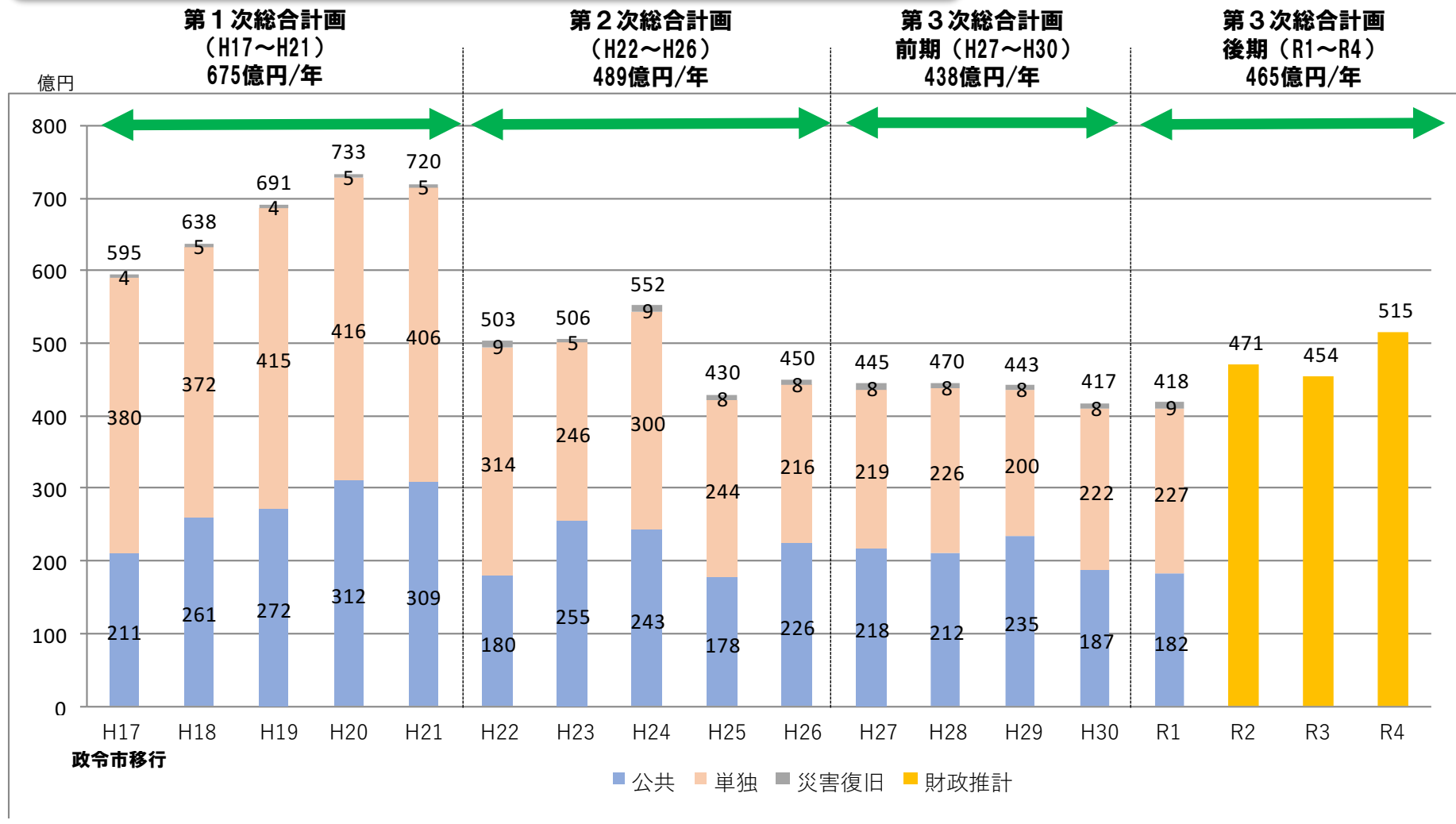
決算ベースで作成



静岡市

# 投資的経費の推移(当初予算ベース)～

## ○ 投資水準を抑制しつつも一定額を確保



# 財政の中期見通し(平成31年2月公表)～

○ 国の経済見通し等を基にした一定の条件により、令和元年度当初予算をベースに令和4年度までの財政収支を機械的に試算したものの。

## 1 試算の前提条件

### (1) 期間及び対象

令和元年度から令和4年度までの一般会計予算

### (2) 経済成長率

「平成31年度予算の後年度歳出・歳入への影響試算」(平成31年2月財務省)における名目成長率

平成31年度(令和元年度): +2.4%    令和2年度: +1.5%    令和3年度: +1.5%    令和4年度: +1.5%

## 2 試算方法

| 区 分 |                       | 考 え 方                                                                    |
|-----|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 歳 入 | 市 税                   | 名目経済成長率×弾性値(1.1) + 税制改正等影響分<br>(固定資産税・都市計画税は、個別に推計)                      |
|     | 地方譲与税・県税交付金等          | 名目経済成長率×弾性値(1.1) + 税制改正等影響分<br>(地方特例交付金は、個別に推計)                          |
|     | 地方交付税<br>(臨時財政対策債を含む) | 現行制度を前提に推計<br>基準財政需要額は、臨時財政対策債及び幼児教育の無償化の影響を考慮して推計<br>基準財政収入額は、市税等の増減に連動 |
|     | 国・県支出金                | 原則として歳出推計額に連動                                                            |
|     | 市 債                   | 原則として歳出推計額に連動                                                            |
|     | その他の歳入                | 原則として令和元年度当初予算に特殊要因を加味して推計(財政調整基金等5基金からの繰入金を除く)                          |
| 歳 出 | 人件費                   | 新陳代謝等を踏まえ推計<br>退職手当は、現時点における退職者数の見込みに基づき推計<br>毎年の人事委員会勧告による影響額は反映していない   |
|     | 扶助費                   | これまでの推移等を踏まえ個別に推計                                                        |
|     | 公債費                   | 既発行分は積上げ<br>新規発行分は、10年債の利率1.0%を基準に推計                                     |
|     | 投資的経費                 | 第3次総合計画後期実施計画の進捗を踏まえ推計<br>災害復旧事業、その他の経費については、令和元年度当初予算をもとに推計             |
|     | その他の経費                | 原則として令和元年度当初に特殊要因を加味して推計<br>他会計繰出金は、個別に推計                                |





### 3 試算状況

(単位:億円)

| 区 分    |                   | 30年度 2月<br>現計予算 | 令和元年度<br>当初予算 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--------|-------------------|-----------------|---------------|-------|-------|-------|
| 歳<br>入 | 市 税               | 1,386           | 1,427         | 1,428 | 1,417 | 1,432 |
|        | 地方譲与税・県税交付金等      | 268             | 258           | 291   | 309   | 308   |
|        | 地方交付税(臨時財政対策債を含む) | 348             | 324           | 307   | 301   | 286   |
|        | 国・県支出金            | 688             | 686           | 706   | 688   | 696   |
|        | 市 債               | 259             | 226           | 247   | 243   | 280   |
|        | その他の歳入            | 283             | 209           | 211   | 217   | 225   |
|        | 歳入合計(A)           | 3,232           | 3,130         | 3,190 | 3,175 | 3,227 |
| 歳<br>出 | 人 件 費             | 740             | 766           | 794   | 797   | 784   |
|        | 扶 助 費             | 692             | 698           | 716   | 717   | 720   |
|        | 公 債 費             | 373             | 376           | 374   | 375   | 377   |
|        | 投資的経費             | 481             | 418           | 471   | 454   | 515   |
|        | その他の経費            | 946             | 922           | 905   | 903   | 900   |
|        | 歳出合計(B)           | 3,232           | 3,180         | 3,260 | 3,246 | 3,296 |

|            |   |     |     |     |     |
|------------|---|-----|-----|-----|-----|
| 財源不足額(A-B) | 0 | △50 | △70 | △71 | △69 |
| 基金充当額      |   | 50  |     |     |     |

|            |     |    |  |  |  |
|------------|-----|----|--|--|--|
| 年度末基金残高見込額 | 145 | 95 |  |  |  |
|------------|-----|----|--|--|--|

|             |         |         |         |         |         |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 年度末市債残高見込額  | 2,664   | 2,656   | 2,660   | 2,658   | 2,666   |
| (臨時財政対策債込み) | (4,453) | (4,521) | (4,595) | (4,656) | (4,715) |

|         |       |       |       |       |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 経常収支比率  | 93.7% | 94.2% | 94.5% | 94.9% | 94.6% |
| 実質公債費比率 | 6.5%  | 5.9%  | 5.6%  | 5.5%  | 5.5%  |

※満期一括償還方式で発行した市債の償還のための積立金は、償還したものとして市債残高から差し引いています。

### 4 今後の対応

#### ・第3次行財政改革推進大綱(平成27～令和4年度)に基づく取組の実施

(事務事業の見直し・統廃合、官民連携の推進及び民間活力の活用、公共事業等のコスト縮減、自主財源の確保、市債発行額の抑制・市債残高の適正な管理、地方公営企業の経営改善)

#### ・アセットマネジメント基本方針(平成26～令和25年度)に基づく第1次アクションプラン(平成29～令和4年度)の着実な実施

・雇用拡大・就労促進・健康づくりなどによる扶助費(生活保護扶助費等)の大幅な増加への対処 ・利用可能な基金等の活用



お問い合わせ先

## 静岡市財政局財政部財政課

〒420-8602

静岡市葵区追手町5番1号

TEL 054-221-1026

FAX 054-221-1749

E-mail [zaisei@city.shizuoka.lg.jp](mailto:zaisei@city.shizuoka.lg.jp)

※ 本資料に掲載する内容について、無断複写・転載はご遠慮ください